

## 人口・経済の展望（案）について

## 人口の展望

## 1 前提条件

## (1) 高位推計

①合計特殊出生率：1.57 まで回復

- ・2035 年に向けて直近の回復基調が続き、徐々に回復。  
(H17 : 1.32 → H21 : 1.37 (+0.05))

※社人研全国推計(高位推計)の出生率想定 (H47(2035)) : 1.53

②社会移動

: 過去 5 年間の社会増減を反映した社会移動率を採用

## (2) 低位推計

①合計特殊出生率：1.25 まで低下

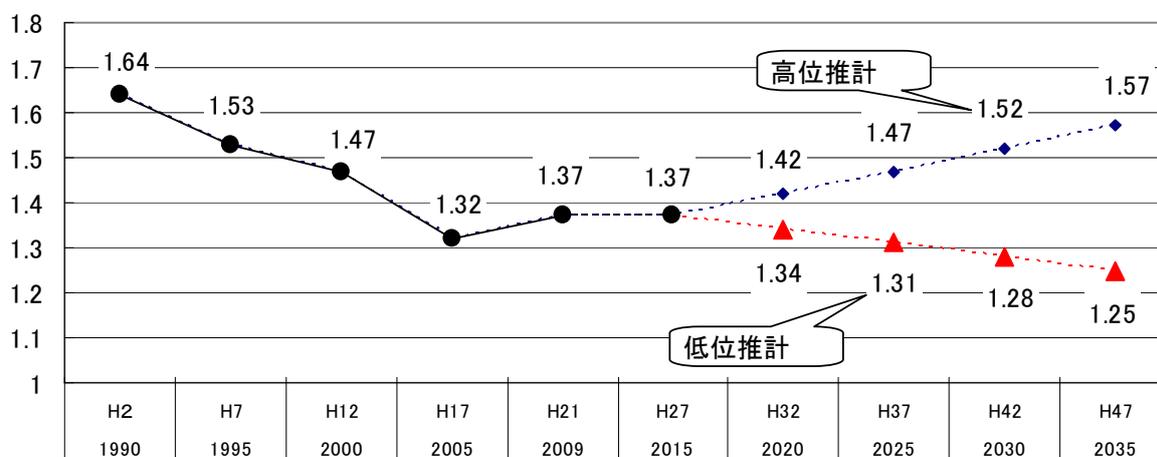
- ・社人研全国推計 (中位推計) の 2035 年における出生率まで徐々に低下

②社会移動

: 過去 5 年間のうち、平成 21 年を除いた社会増減を反映した社会移動率を採用

## &lt;参考&gt;

## 1. 合計特殊出生率の想定



(注) H21 までは実績、H27 以降は見込み

## 2. 近年の人口動態

(単位：人)

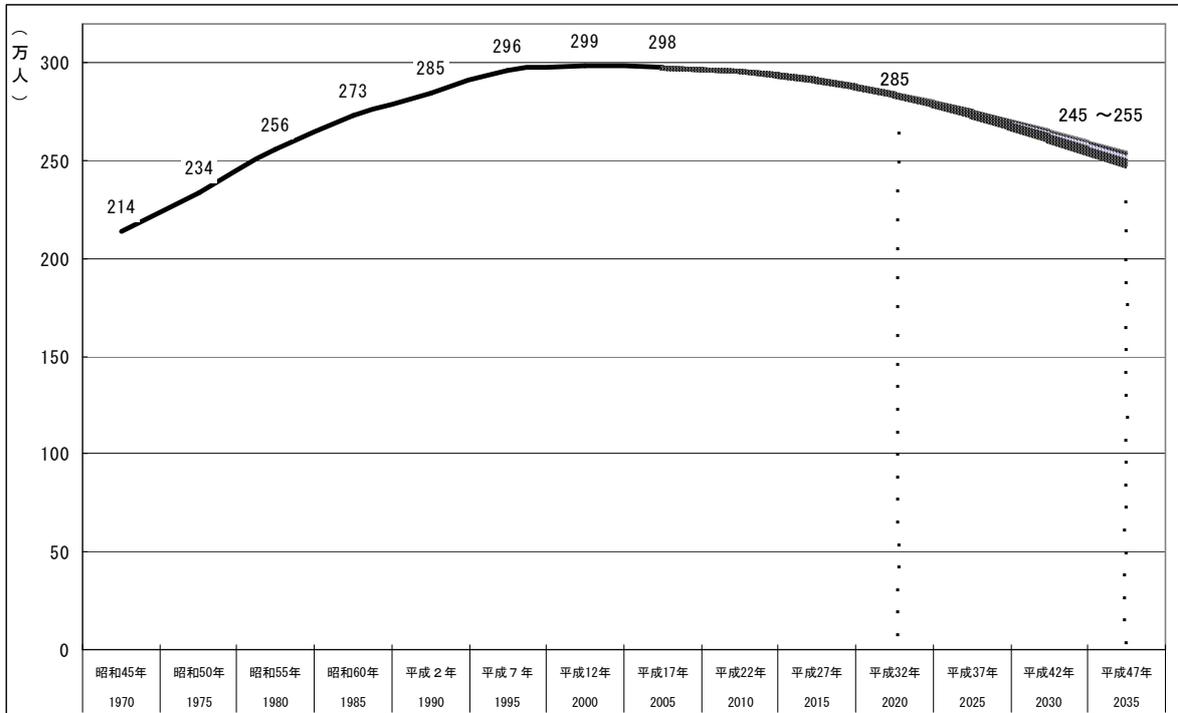
	県人口 (1/1 現在)	当該年中の増減		
		増減計	うち自然増減	うち社会増減
H 18	2,976,008	▲3,235	▲725	▲2,510
19	2,972,773	▲1,157	▲976	▲181
20	2,971,616	▲3,271	▲2,479	▲792
21	2,968,345	▲1,142	▲3,371	2,229
22	2,967,203	▲4,031	▲3,717	▲314

(H22 : 推計値)

## 2 将来人口の推計結果

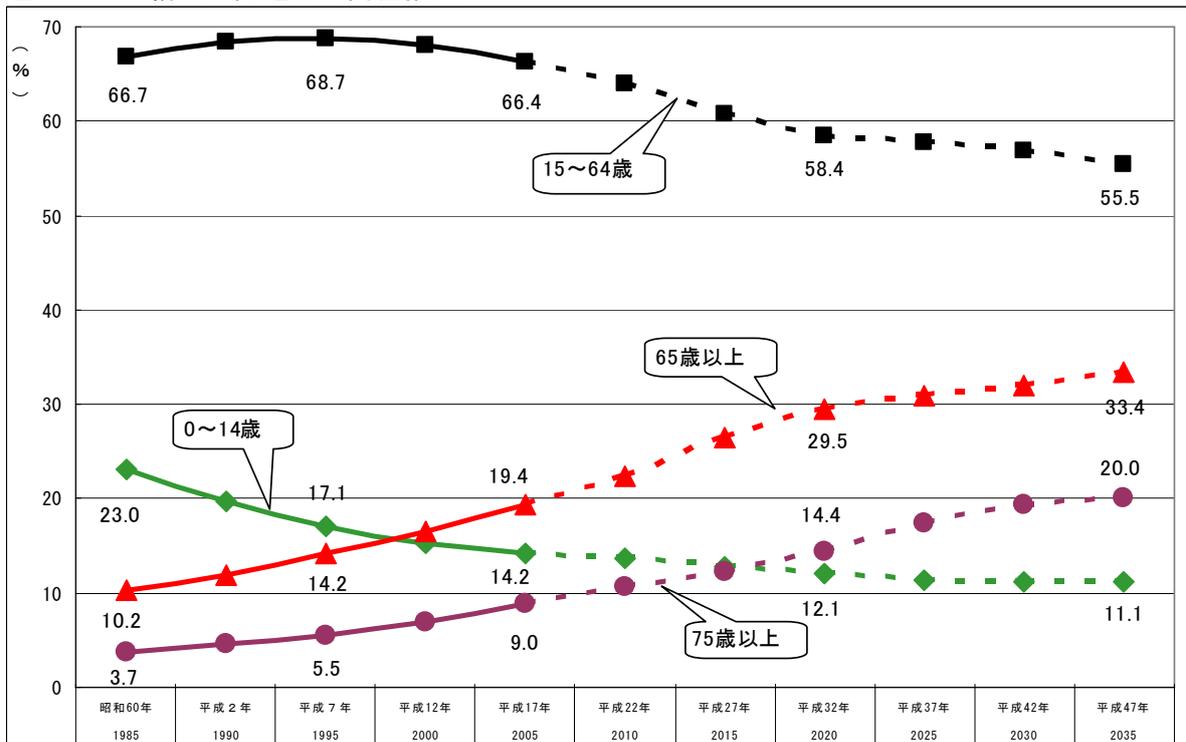
- ・平成 32（2020）年の時点では、概ね 285 万人程度まで減少する。
- ・より長期的に見た場合、四半世紀後の平成 47（2035）年には、出生率や社会移動率の想定の違いにより、概ね 245 万人から 255 万人程度にまで減少する見込みである。

図 1 茨城県の人口の実績と見通し



出典：S45～H17 年は国勢調査、H22 年以降は企画課推計値

図 2 人口構成の見通し（高位推計）



出典：S45～H17 年は国勢調査、H22 年以降は企画課推計値

<参考>

茨城県の総人口と人口構成の見通し

高位推計

	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)
人口総数(千人)	2,975	2,962	2,920	2,849	2,758	2,655	2,542
0-14歳(千人)	423	403	372	344	313	295	283
15-64歳(千人)	1,975	1,895	1,773	1,665	1,590	1,509	1,411
65歳以上(千人)	577	664	774	840	854	851	848
うち75歳以上(人)	267	314	359	410	480	516	509
0-14歳(%)	14.2	13.6	12.8	12.1	11.4	11.1	11.1
15-64歳(%)	66.4	64.0	60.7	58.4	57.7	56.8	55.5
65歳以上(%)	19.4	22.4	26.5	29.5	31.0	32.1	33.4
うち75歳以上(%)	9.0	10.6	12.3	14.4	17.4	19.5	20.0

	2005-2010	2010-2015	2015-2020	2020-2025	2025-2030	2030-2035
人口増減(千人)	▲13	▲42	▲71	▲91	▲103	▲114
自然増減(千人)	▲11	▲42	▲71	▲91	▲104	▲116
社会増減(千人)	▲2	▲0	▲0	1	1	2

低位推計

	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)
人口総数(千人)	2,975	2,962	2,915	2,835	2,729	2,608	2,472
0-14歳(千人)	423	403	372	336	294	261	236
15-64歳(千人)	1,975	1,895	1,770	1,658	1,582	1,497	1,390
65歳以上(千人)	577	664	774	840	854	850	846
うち75歳以上(人)	267	314	360	410	479	516	509
0-14歳(%)	14.2	13.6	12.7	11.9	10.8	10.0	9.5
15-64歳(%)	66.4	64.0	60.7	58.5	57.9	57.4	56.2
65歳以上(%)	19.4	22.4	26.5	29.6	31.3	32.6	34.2
うち75歳以上(%)	9.0	10.6	12.3	14.5	17.6	19.8	20.6

	2005-2010	2010-2015	2015-2020	2020-2025	2025-2030	2030-2035
人口増減(千人)	▲13	▲47	▲81	▲105	▲121	▲136
自然増減(千人)	▲11	▲43	▲77	▲102	▲119	▲135
社会増減(千人)	▲2	▲4	▲4	▲3	▲2	▲1

注: 端数処理のため、合計と一致しない箇所がある。

(参考) 社人研推計

	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (H32)	2025 (H37)	2030 (H42)	2035 (H47)
人口総数(千人)	2,975	2,935	2,873	2,790	2,690	2,577	2,451
0-14歳(千人)	423	388	344	303	272	251	232
15-64歳(千人)	1,975	1,884	1,758	1,648	1,559	1,465	1,356
65歳以上(千人)	577	663	771	839	859	861	862
うち75歳以上(人)	267	316	363	419	495	536	534
0-14歳(%)	14.2	13.2	12.0	10.8	10.1	9.7	9.5
15-64歳(%)	66.4	64.2	61.2	59.1	57.9	56.9	55.3
65歳以上(%)	19.4	22.6	26.8	30.1	31.9	33.4	35.2
うち75歳以上(%)	9.0	10.8	12.6	15.0	18.4	20.8	21.8

## 経済の展望

### 1 前提条件

- (1) 人口：別途推計した人口の展望による
  - ・2010年：2,962千人　2015年：2,920千人　2020年：2,849千人
- (2) 就業率　女性や高齢者の就業率の向上を想定
  - ・15歳以上就業率　2005年度：57% → 2020年度：60%
- (3) 広域交通ネットワーク整備の効果
  - ・各都道府県との時間距離が着実に短縮
- (4) 国内経済　政府の経済成長戦略に基づく
  - ・経済成長率　2020年度までの平均で実質2%以上、名目3%以上
  - ・GDPデフレーター　1%程度の適度で安定的な上昇

### 2 推計方法

- ・需給均衡型の計量経済モデルにより推計
- ・推計期間　2020年度までの10年間

### 3 推計結果

#### (1) 茨城県の経済の展望（2020年度までの平均）

- ・名目経済成長率　2.9%
- ・実質経済成長率　2.2%
- ・デフレータの伸び　0.6%
- ・就業者数の伸び　0.1%
- ・労働生産性（名目）の伸び　2.8%

#### (参考)

$$\begin{aligned}
 \text{名目経済成長率} &= \text{実質経済成長率} + \text{デフレータの伸び} \\
 2.9\% &= 2.2\% + 0.6\% \\
 \text{名目経済成長率} &= \text{就業者数の伸び} + \text{労働生産性（名目）の伸び} \\
 2.9\% &= 0.1\% + 2.8\%
 \end{aligned}$$

#### (2) 成長のシナリオ

- ・就業環境の整備により、女性や高齢者の就業率が向上し、いわゆるM字カーブが徐々に解消されるなど、人口減少によるマイナスの効果を相殺
- ・広域交通ネットワークの整備が進むことにより、製造業を中心に企業立地が高水準で推移し設備投資が活発化するとともに、物流や観光など非製造業も着実に成長
- ・最先端の科学技術を活用した新産業や新技術の創出、広域交通ネットワークの整備やIT化の進展等により、産業全体の生産性が向上

#### (本県経済の展望)

	2010年度 (平成22年度)	2015年度 (平成27年度)	2020年度 (平成32年度)	年平均増加率 (H32/H22)
県内総生産(実質:十億円)	12,865	14,519	16,047	2.2%
県内総生産(名目)	12,085	13,989	16,048	2.9%
第一次産業	237	239	245	0.3%
第二次産業	4,517	4,972	5,654	2.3%
第三次産業	8,302	9,617	11,095	2.9%
県内就業者数(千人)	1,422	1,437	1,435	0.1%

注) 産業別総生産には帰属利子等が含まれるので、合計は県内総生産には一致しない。